

H22 年度大正高校学校教育自己診断まとめ

◎実施方法

1. 実施時期：平成23年2月
2. 対象者：生徒
3. 回答数：生徒 1年生 244人、2年生 209人、3年生 179人

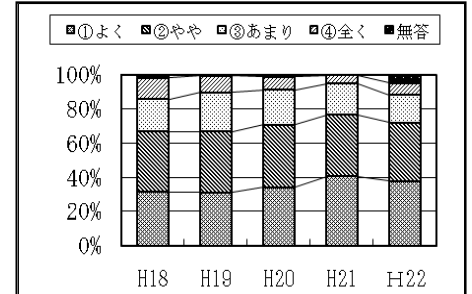
①大正高校に入学したことについて

「大正高校に入学してよかった。」

H18 (66.9%) → H19 (67.3%) → H20 (70.9%) → H21 (76.6%) → H22 (75.6%)

☆昨年度より下がったが、

今後の目標として8割を目指して様々な取り組みを進めていく。



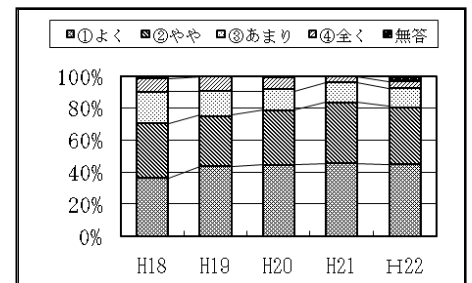
②普通科総合選択制のシステム

「普通科総合選択制は、いろんなエリアや多くの選択科目から、自分にあったものを選べるのでよい。」

H18 (70.6%) → H19 (75.3%) → H20 (78.5%) → H21 (83.7%) → H22 (83.3%)

☆昨年度より少し下がっている。

新学習指導要領に向けた取り組みを含め、33期生から改編したキャリア探究エリアのエリア指定科目や自由選択科目などを生徒のニーズに合ったものに更に改善していく。



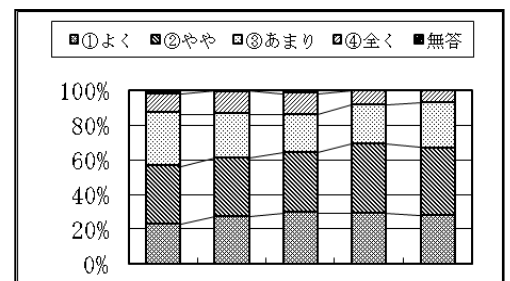
③学校行事

「体育祭や文化祭、遠足など学校行事は活発である。」

H18 (56.6%) → H19 (61.1%) → H20 (64.2%) → H21 (69.3%) → H22 (67.0%)

☆下がっている。

体育祭では学年別のクラス対抗から、合同クラスによる対抗戦に変わり定着してきた。種目も幅広い生徒が楽しめるように変更した。



④仲間作り

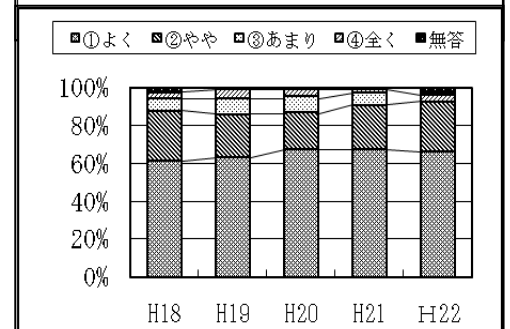
「学校に仲の良い友達がいる。」

H18 (87.6%) → H19 (86.2%) → H20 (87.4%) → H21 (91.0%) → H22 (88.2%)

☆下がってはいるものの、高い水準を維持している。

1年生でのオリエンテーション合宿では多くの友達ができたとの回答もあり、オリキャンの趣旨が反映されている。

さらに体育祭・文化祭と次第にまとまっていくような流れが効果をあげている。



⑤進路希望の未定者

「高校卒業後はどうするか、進学や就職など進路の方針を決めている。」

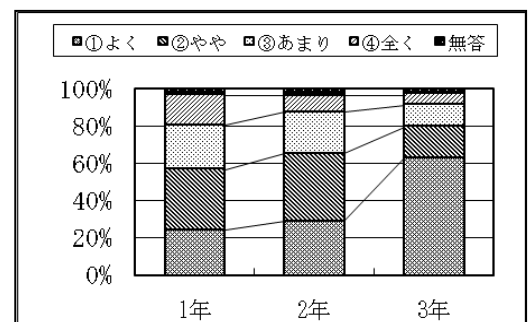
32期1年 (59.2%) 31期2年 (61.2%) 30期3年 (88.3%)

33期1年 (58.6%) 32期2年 (67.8%) 31期3年 (81.7%)

☆景気動向もあり、3年生の調査時点(2月)で進路の方針が未定の者が2割もいるのは残念であるが、最後まで粘り強く指導を継続する。

学年が上がるにつれて進路が確定する傾向がみられる。

従来からの進路別説明会や卒業生による進路講演を早い段階から実施しキャリア教育を充実させていきたい。



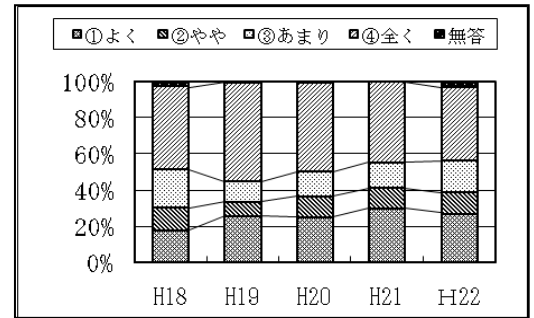
⑥クラブ活動

「クラブ活動に興味がある、または入っている」

H18 (30.5%) →H19 (33.8%) →H20 (36.9%) →H21 (41.4%) →H22 (40.1%)

☆新入生クラブオリエンテーションや仮入部期間の延長などで、より一層の増加を目指したい。

また、途中での入部を促すために、6月と10月にも仮入部期間を設け、部員数増加を目指す。



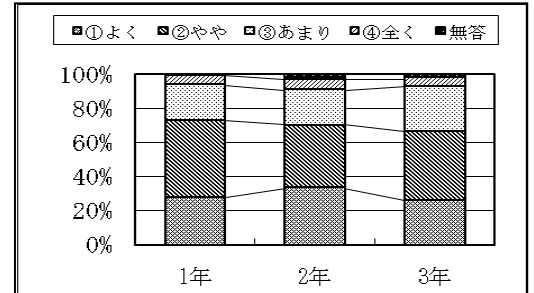
⑦メロディーチャイム

「メロディーチャイムは、毎時間よく守っている」

32期1年 (69.0%) 31期2年 (68.7%) 30期3年 (64.8%)

33期1年 (73.3%) 32期2年 (72.4%) 31期3年 (67.6%)

☆3年生は移動教室も多く、授業遅刻防止のためのメロディーチャイムが守りにくいようだ。全体として2/3が守れている。昨年より上昇している項目である。今後も教員による立ち番や担任の巡回を増やし、守れる者を増やしていく。



⑧生徒の学習習慣と授業改善

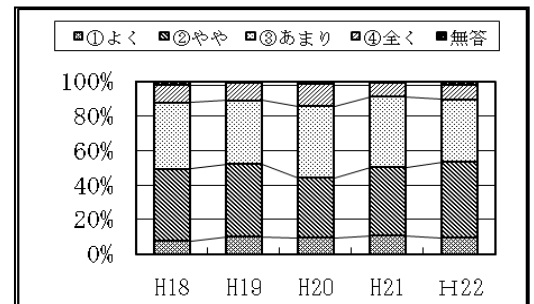
「授業は全般的に分かりやすい」

H18 (49.7%) →H19 (52.4%) →H20 (44.3%) →H21 (50.7%) →H22 (54.8%)

☆昨年度より、上昇した。

今後も研究授業・授業評価等を有効利用し、より一層分かりやすい授業に向けて取り組む必要がある。

また、環境改善にも取り組み、やる気を引き出したい。



⑨生徒指導

「大正高校の頭髪・遅刻・服装などの指導は適切である」

H19 (47.4%) →H20 (51.9%) →H21 (55.6%) →H22 (64.4%)

☆本校の指導は肯定的にとらえている。地域に映る生徒の様子も重要視したい。

